

簡単料理



栄養価の高い豆苗で
もう一品♪

豆苗とさつま揚げのごま和え



材料

- ・豆苗 1袋
- ・さつま揚げ 4枚
- ☆醤油 小1
- ☆砂糖 小1/2
- ☆すりごま 大1

1. 豆苗は根本を落とし、半分に切る。熱湯でさっと茹でたら、水気をきっておく。
2. さつま揚げは薄切りにし、フライパンか魚焼きグリル等でさっと焼く。
3. ボウルに☆の調味料を混ぜ豆苗、さつま揚げと和えたら完成♪

院長や歯科衛生士に聞いてみたいこと、気になっていることはありませんか？
もしかすると、谷口歯科新聞でお答えさせていただくかもしれません！スタッフまでお声かけください。
ご質問お待ちしております^^

スタッフ一同

生活でお口の不調はございませんか？
定期的なお口のメンテナンスで元気に春を迎えましょう♪

寒さの中にも 春の気配

谷口歯科新聞

No. 14

平成31年3・4月号

コラム

Vol. 7

“差し歯”って怖い！

皆さん、こんにちは。「差し歯」ってご存知でしょうか？
実を言うと「差し歯」は歯科医療用語ではありません。
一般的には、神経を抜いてしまった歯に対して、金属の土台を差ししてから冠を被せることを「差し歯」と呼んでいる様です。

ここで怖いのが「金属の土台」です。保険治療であれば、金属は銀を使用しています。自費治療の金属の土台であれば、パラジウム、チタン、プラチナ、金合金辺りと思われます。歯、骨、皮膚、毛髪の全ては、コラーゲン線維で出来ております。線維ですからしなることで力を分散して応力に耐える構造になっております。さて、金属はしなりますでしょうか？安全ピンや虫ピンレベルの細さなら、まあ、しなりますかね。

怖いのは「歯牙破折」という事故につながる可能性が大きいからです。破折した歯は、保存は不可能なのです。
健康な歯が薄くしか残らなかった場合に入る金属製土台の選択ほど恐ろしいものはありません。

その場合どう対処するのでしょうか？！当診療所では保険外治療になりますが、グラスファイバーを使用する土台をお勧めします。「ガラス繊維のしなり」と「歯のしなり」がマッチングするのです。高層ビルやマンション、木、竹、飛行機の羽などは地震や風に身を任せて大きく揺れることで応力を逃がしているのです。歯も同じ様に応力を分散しているのです。

最終的に銀歯が入るのか？セラミック歯が入るのか？だけではなく、歯と冠をつなぐジョイント(土台)の材質を考えて、御自身の歯を永く使っていけるように谷口歯科診療所は全力でサポートさせていただきます。

谷口歯科診療所 院長 谷口昭博

